

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 東洋合成工業株式会社

コード番号 4970 URL <http://www.tovogosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 正輝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 松下 将之

TEL 047-327-8080

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,119	—	△1,002	—	△1,174	—	△1,279	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△157.46	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注)平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	23,897	5,953	24.9	732.77
21年3月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 22年3月期第3四半期 5,952百万円 21年3月期 一百万円

(注)平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	—	△1,000	—	△1,200	—	△1,350	—	△166.20

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率につきましては記載していません。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 1社 (社名 株式会社トランスパレント ) 除外 1社 (社名 )  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,143,390株 21年3月期 8,143,390株  
 ② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 20,720株 21年3月期 20,720株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 8,122,670株 21年3月期第3四半期 8,136,944株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月12日発表「平成21年3月期 決算短信(非連結)」における業績予想は非連結のものでありましたが、第1四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しております。
- 平成21年8月12日に発表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。なお、詳細につきましては、本日(平成22年2月9日)発表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9か月)の世界経済は、各国政府の景気刺激策などにより一昨年後半以降の深刻な経済危機は脱しつつあるものの、本格的な回復にはまだ先行き不透明な状況が続いております。

日本経済は、中国向け需要が堅調に推移し、また政府による景気刺激策の効果もあり、一部では景気持ち直しの動きは見られるものの、設備投資の抑制や失業率が高水準で推移するなど、自律的な回復には時間を要するものと思われれます。

当社グループの主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、中国向け家電の需要が継続するとともに、政府のエコポイント制度などの景気対策により回復が見られた一方、液晶テレビを始めとして低価格化が進むなど、厳しい状況が続いております。また、汎用化学品業界は、需要に回復の兆しが見え始めているものの、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは、積極的な営業活動による需要の確保等に注力いたしました。年度前半の需要減少の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,119,536千円となりました。

損益面では、総経費の削減や原価低減活動を始めとするコスト対策に努めたものの、第1四半期における生産量の減少などが影響し、営業損失は△1,002,421千円、経常損失は△1,174,948千円、四半期純損失は△1,279,013千円となりました。

#### 【感光性材料事業】

液晶用途向け感光性材料は、中国向け需要の増加に牽引され、回復基調にあります。また、半導体用途向け感光性材料においても需要の底打ち感が見られ、売上の回復が続いております。イオン液体・電解液は、精力的な需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業部門の売上高は4,487,320千円となりました。

#### 【化成品事業】

香料材料部門は、世界経済の回復を反映し、需要環境は堅調に推移しております。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓に注力し、電子材料業界を中心に需要は緩やかながら回復が続いております。ロジスティック部門は、顧客満足度の維持・向上に努め、タンク契約率は高水準を維持するとともに、低迷が続いておりました荷動き量も回復し始めております。

以上の結果、同事業部門の売上高は4,632,215千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は23,897,361千円となりました。

流動資産は8,191,938千円となりました。主な内訳は、商品及び製品2,930,597千円、受取手形及び売掛金2,353,627千円となっております。

固定資産は15,705,422千円となりました。主な内訳は、建物及び構築物(純額)5,494,054千円、土地4,410,875千円となっております。

流動負債は10,457,212千円となりました。主な内訳は、短期借入金7,562,440千円となっております。

固定負債は7,486,233千円となりました。主な内訳は、長期借入金5,846,190千円となっております。

純資産合計は5,953,915千円となりました。主な内訳は、利益剰余金2,802,534千円となっております。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成22年2月9日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

前事業年度まで非連結子会社でありました株式会社トランスパレントを、重要性の観点から連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
 (平成21年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,728,464
受取手形及び売掛金	2,353,627
商品及び製品	2,930,597
仕掛品	38,707
原材料及び貯蔵品	1,054,141
その他	88,772
貸倒引当金	△2,372
流動資産合計	8,191,938
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	5,494,054
機械装置及び運搬具（純額）	3,756,401
土地	4,410,875
建設仮勘定	565,282
その他（純額）	344,976
有形固定資産合計	14,571,590
無形固定資産	
のれん	25,336
その他	587,248
無形固定資産合計	612,584
投資その他の資産	
その他	532,029
貸倒引当金	△10,781
投資その他の資産合計	521,247
固定資産合計	15,705,422
資産合計	23,897,361

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成21年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,805,516
短期借入金	7,562,440
未払法人税等	19,165
引当金	76,074
その他	994,016
流動負債合計	10,457,212
固定負債	
長期借入金	5,846,190
退職給付引当金	906,896
その他の引当金	90,054
その他	643,091
固定負債合計	7,486,233
負債合計	17,943,445
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,618,888
資本剰余金	1,541,589
利益剰余金	2,802,534
自己株式	△12,578
株主資本合計	5,950,433
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,604
評価・換算差額等合計	1,604
少数株主持分	1,878
純資産合計	5,953,915
負債純資産合計	23,897,361

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	9,119,536
売上原価	8,672,501
売上総利益	447,035
販売費及び一般管理費	1,449,456
営業損失(△)	△1,002,421
営業外収益	
受取利息	1,208
受取配当金	5,101
助成金収入	31,538
技術指導料	15,002
その他	34,144
営業外収益合計	86,994
営業外費用	
支払利息	124,163
休止固定資産減価償却費	47,647
為替差損	42,958
その他	44,752
営業外費用合計	259,521
経常損失(△)	△1,174,948
特別利益	
受取保険金	19,851
特別利益合計	19,851
特別損失	
固定資産除却損	121,003
特別損失合計	121,003
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,276,100
法人税、住民税及び事業税	5,121
法人税等調整額	△1,366
法人税等合計	3,755
少数株主損失(△)	△842
四半期純損失(△)	△1,279,013

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
売上高	3,360,959
売上原価	3,137,949
売上総利益	223,010
販売費及び一般管理費	502,759
営業損失(△)	△279,749
営業外収益	
受取利息	391
受取配当金	737
助成金収入	2,169
その他	4,815
営業外収益合計	8,114
営業外費用	
支払利息	40,052
為替差損	△4,597
その他	3,234
営業外費用合計	38,689
経常損失(△)	△310,323
特別利益	
受取保険金	19,851
特別利益合計	19,851
特別損失	
固定資産除却損	60,277
特別損失合計	60,277
税金等調整前四半期純損失(△)	△350,749
法人税、住民税及び事業税	1,801
法人税等調整額	△447
法人税等合計	1,354
少数株主損失(△)	△249
四半期純損失(△)	△351,853



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,276,100
減価償却費	1,652,714
のれん償却額	2,290
引当金の増減額(△は減少)	△42,093
受取利息及び受取配当金	△6,310
支払利息	124,163
固定資産除却損	121,003
売上債権の増減額(△は増加)	△1,097,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,738,376
仕入債務の増減額(△は減少)	556,047
未払又は未収消費税等の増減額	185,587
受取保険金	△19,851
その他	94,789
小計	2,032,651
利息及び配当金の受取額	5,338
利息の支払額	△113,305
保険金の受取額	364,705
補償金の受取額	50,000
法人税等の支払額	△11,513
法人税等の還付額	7,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,335,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,071,915
有形固定資産の除却による支出	△102
無形固定資産の取得による支出	△100,503
投資有価証券の取得による支出	△454
投資有価証券の売却による収入	12,202
貸付けによる支出	△210
貸付金の回収による収入	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,160,693
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	15,850,000
短期借入金の返済による支出	△15,850,000
長期借入れによる収入	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△2,146,910
リース債務の返済による支出	△59,588
配当金の支払額	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	668,536
現金及び現金同等物の期首残高	539,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,208,464

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	感光性材料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,487,320	4,632,215	9,119,536	—	9,119,536
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,366	454,581	460,948	(460,948)	—
計	4,493,687	5,086,797	9,580,485	(460,948)	9,119,536
営業利益又は営業損失 (△)	△1,190,425	188,003	△1,002,421	—	△1,002,421

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,334,905	947,930	582,826	96,594	2,962,256
II 連結売上高（千円）					9,119,536
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.6	10.4	6.4	1.1	32.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、台湾、中国、シンガポール 他

(2) 北米・・・米国

(3) 欧州・・・スイス、スペイン、ドイツ 他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。